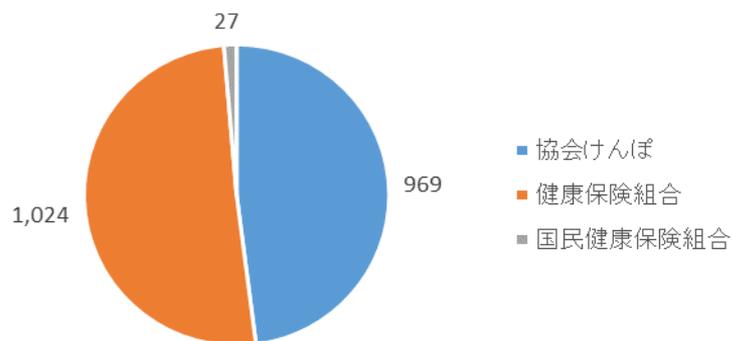


健康企業宣言アンケート 集計結果 (令和5年度)

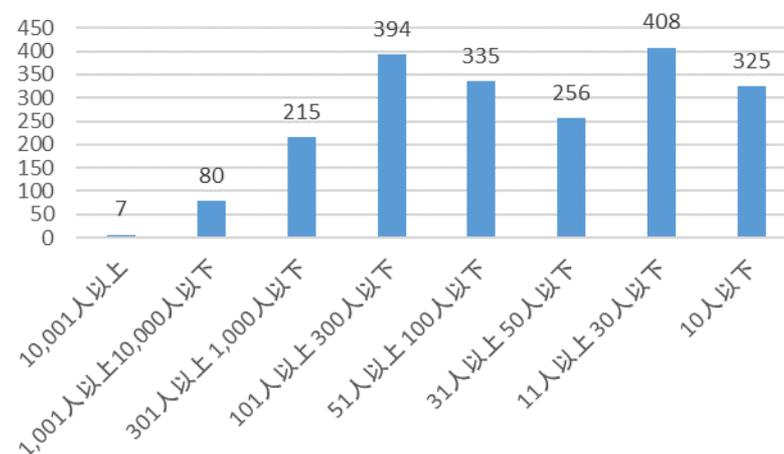
1. 属性

アンケート回答数：2,020/3,218事業所（回答率62.8%）（2023年3月31日時点）

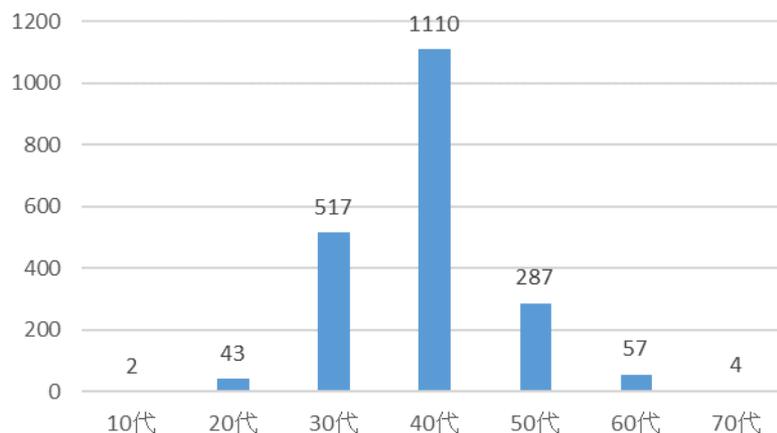
加入している医療保険者



従業員数



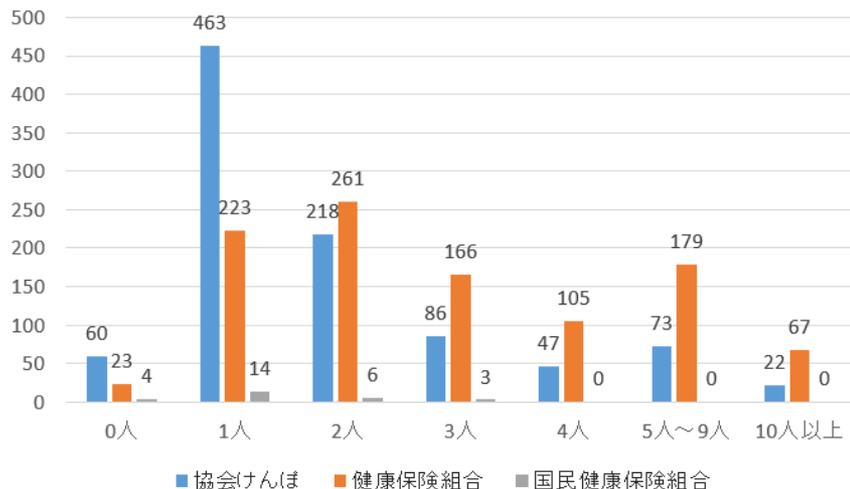
従業員の平均年齢



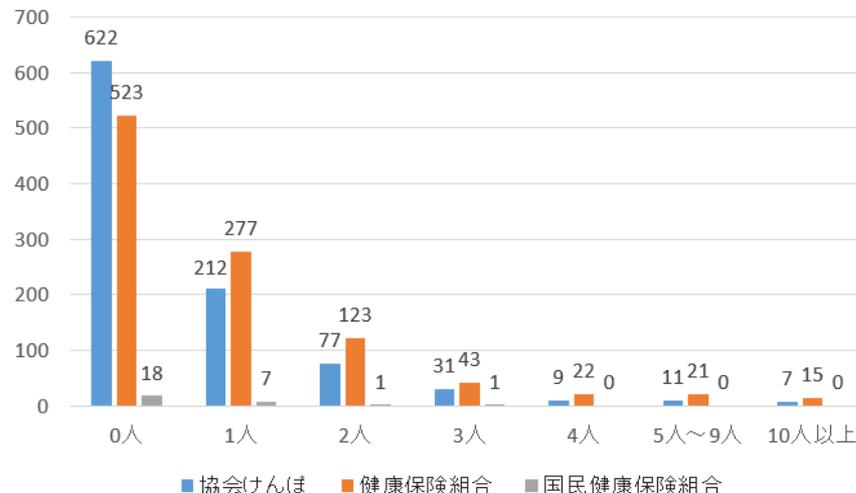
回答事業所の中で、健康保険組合が約半数を占める結果となった。
従業員数では、11人以上30人以下の事業所が最も多く、次いで101人以上300人以下の事業所であった。
平均年齢は40代が最も多い結果となった。

1. 属性

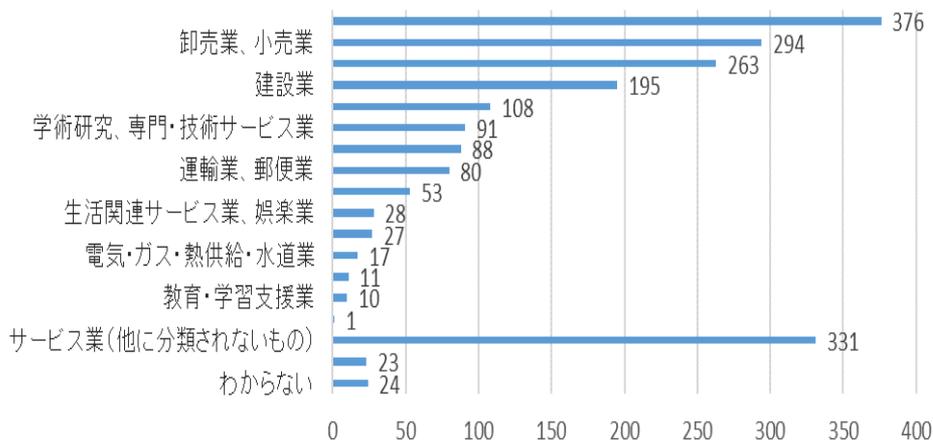
担当者数



専門職数



業種

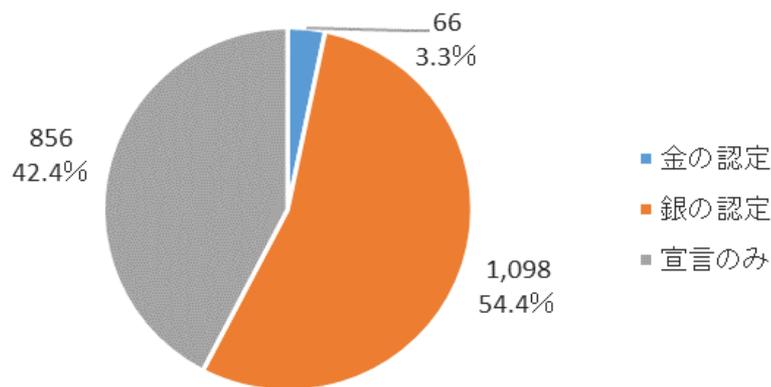


健康企業宣言の担当者数は、協会けんぽ東京支部と、国民健康保険組合は1人の事業所が多く、健康保険組合は2人の事業所が多かった。中には担当者が0人の事業所もあった。

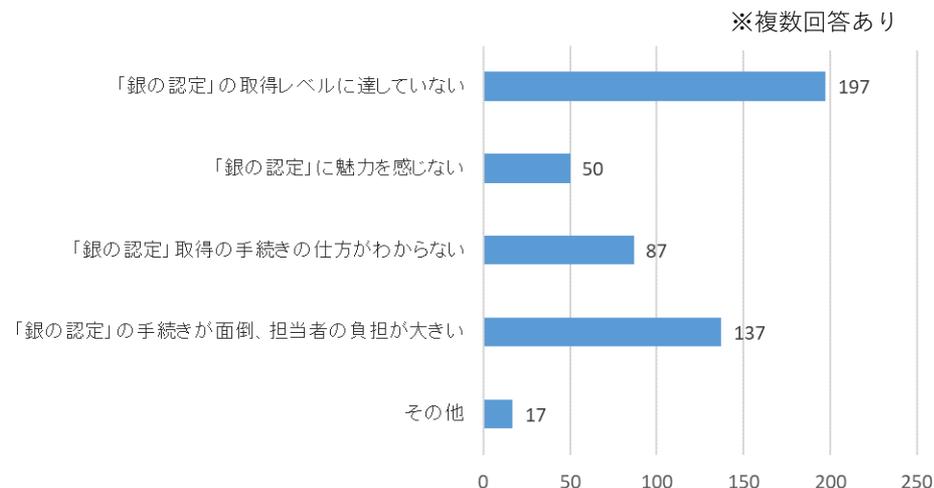
専門職数は、3団体とも0人と回答した事業所が多かった。業種は、製造業が最も多く、次いでサービス業（他に分類されないもの）、卸売業・小売業、情報通信業となった。

2. 各結果

金・銀の認定状況



銀の認定を取得しない理由



※認定を受けていないと回答した856社のうち、認定を考えていないと答えた373社の回答

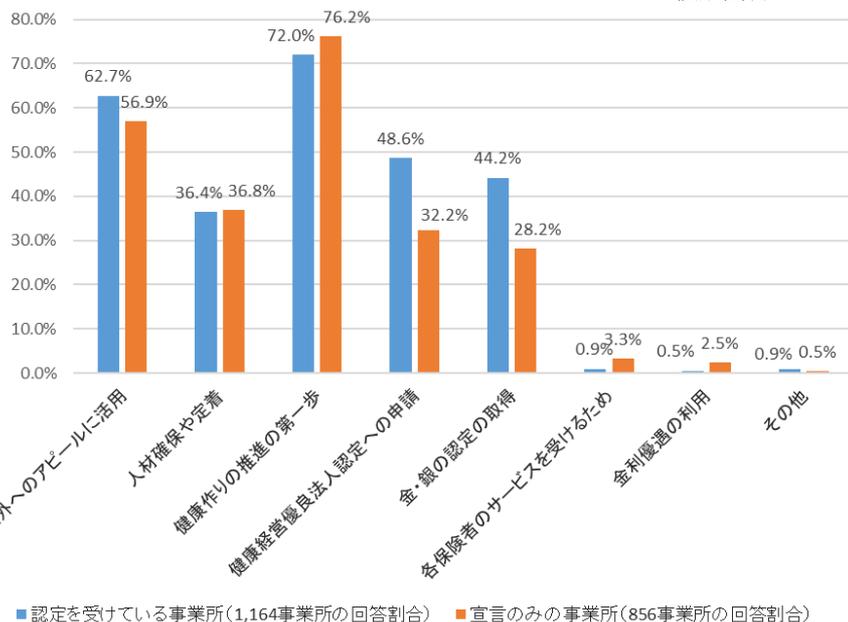
回答事業所の銀・金認定状況を確認したところ、金の認定を取得していると回答した事業所が66（3.3%）、銀の認定を取得している事業所が1,098（54.4%）、「健康企業宣言」の宣言のみで認定取得に至っていない事業所は856（42.4%）であった。

宣言のみの事業所へ、銀の認定を取得しない理由を確認したところ、「「銀の認定」の取得レベルに達していない」または、「手続きが面倒、担当者の負担が大きい」という理由が多く、「「銀の認定」に魅力を感じない」という事業所は少ない結果となった。

2. 各結果

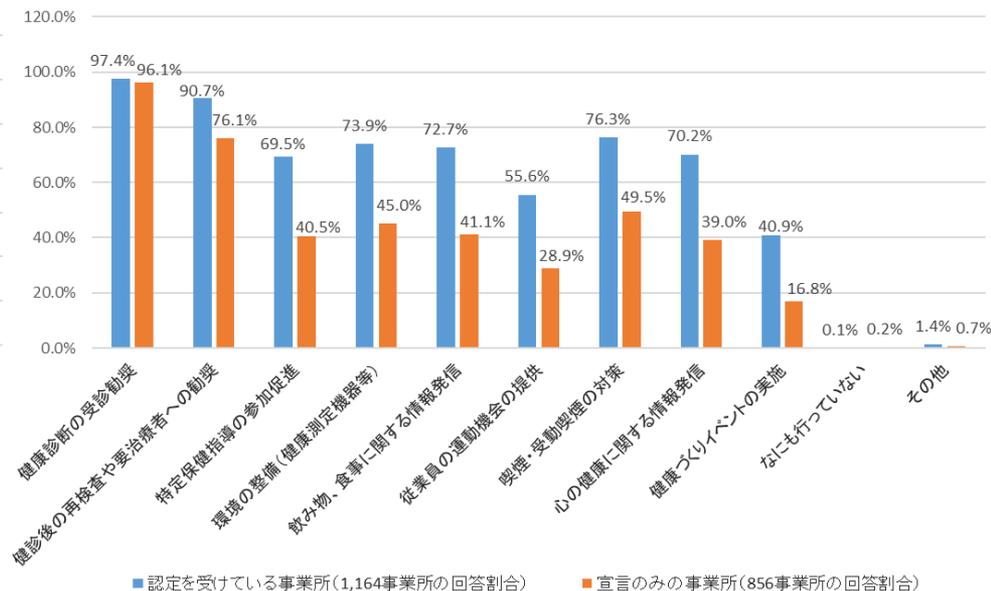
宣言をする目的となったもの

※複数回答あり



具体的な取り組み

※複数回答あり

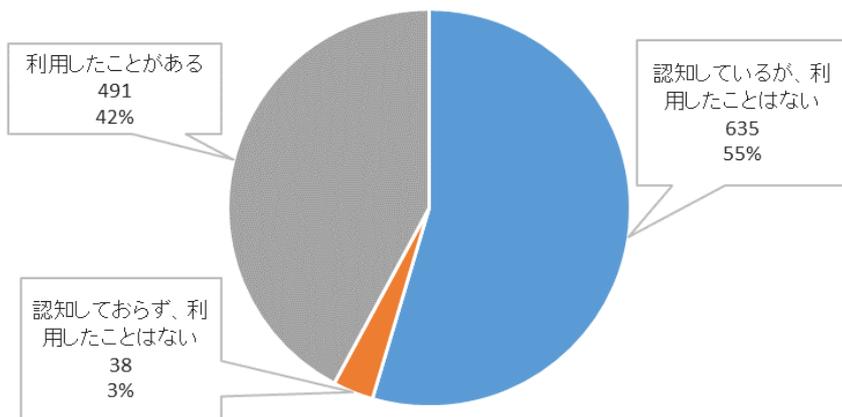


「健康企業宣言」をする目的となったものでは、認定を受けている事業所、宣言のみの事業所ともに「健康づくりの推進の第一歩」が、最も多い結果となった。「人材確保や定着」を目的としている事業所は少なく、健康意識の向上やアピールにつながるものや、各種認定等ゴールがあるものが目的の上位に入っていた。

具体的な取り組み内容では、認定の有無にかかわらず、「健康診断の受診勧奨」、次いで「健診後の再検査や要治療者への勧奨」、「喫煙・受動喫煙の対策」の順で多い結果となった。

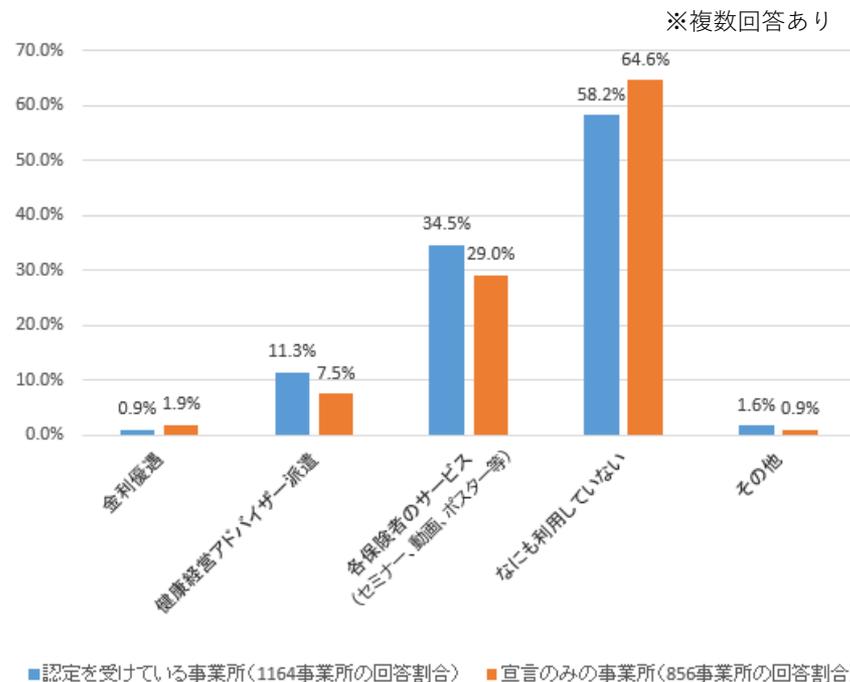
2. 各結果

「銀の認定ロゴマークの利用」



認定を受けている事業所(1164事業所の回答割合)

健康企業宣言の取り組みで利用したサービス



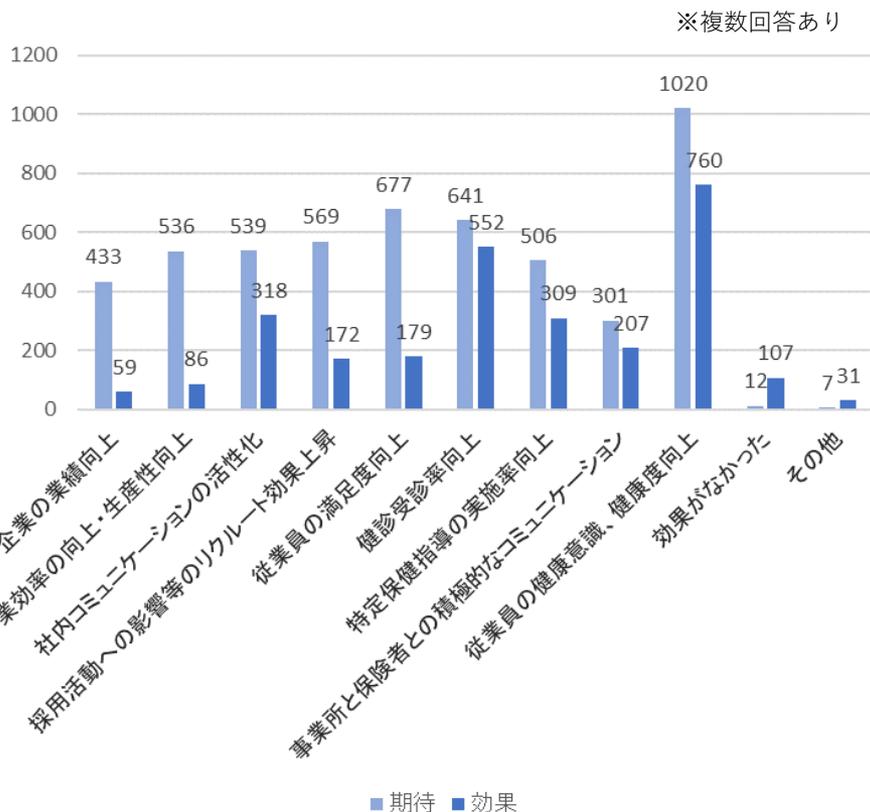
「銀の認定」ロゴマークの利用について、「「銀の認定」ロゴマークを認知しているが、利用したことはない」が半数以上を占めていた。

利用したサービスは、「利用していない」が多く、事業所にとって魅力的かつ、利用しやすいサービス（メリット）の必要性が再確認できた。

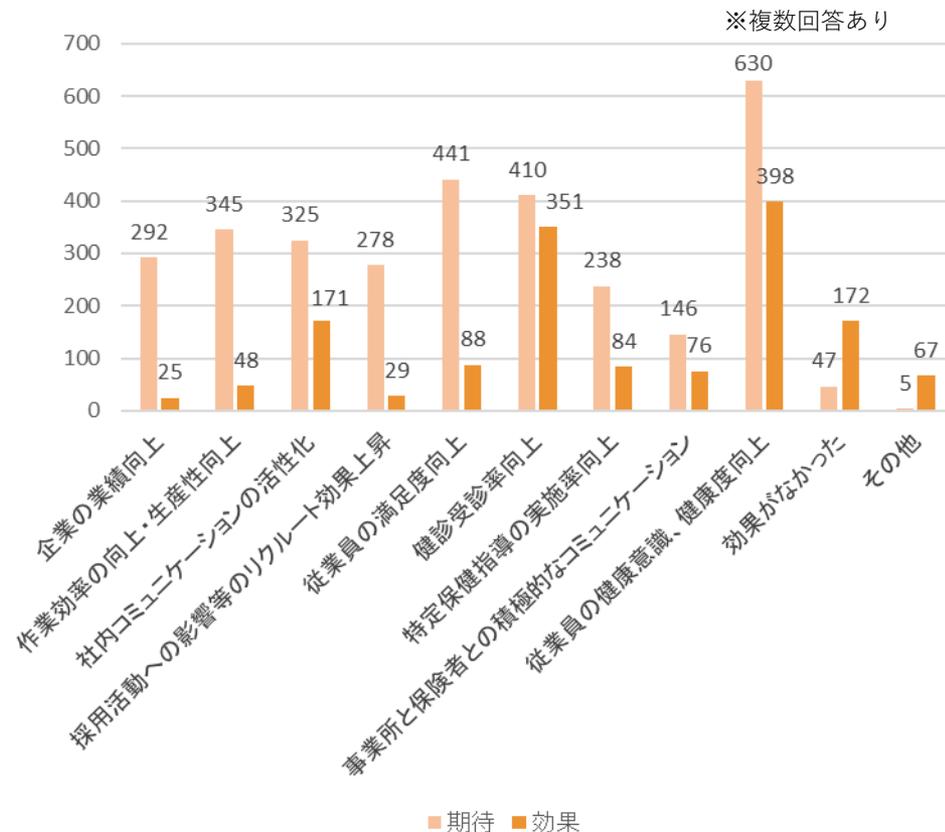
2. 各結果

「健康企業宣言」に期待する効果と実際に効果があったもの

認定を取得している事業所



宣言のみの事業所

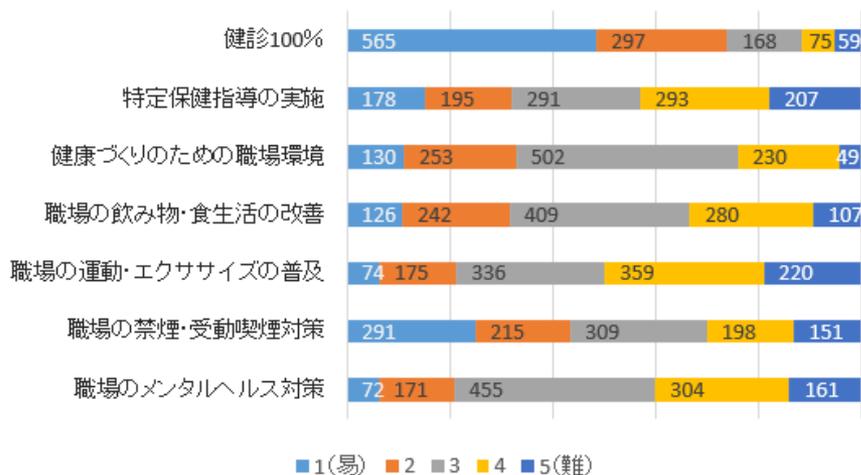


「健康企業宣言」に期待する効果と、実際に効果があったものを確認したところ、「健診受診率の向上」と「従業員の健康意識、健康度向上」は、期待と実際に大きな乖離はないことがわかった。一方で、「企業の業績向上」や「作業効率の向上・生産性向上」等、中長期的なものについては、効果を感じている事業所が少ない結果となった。

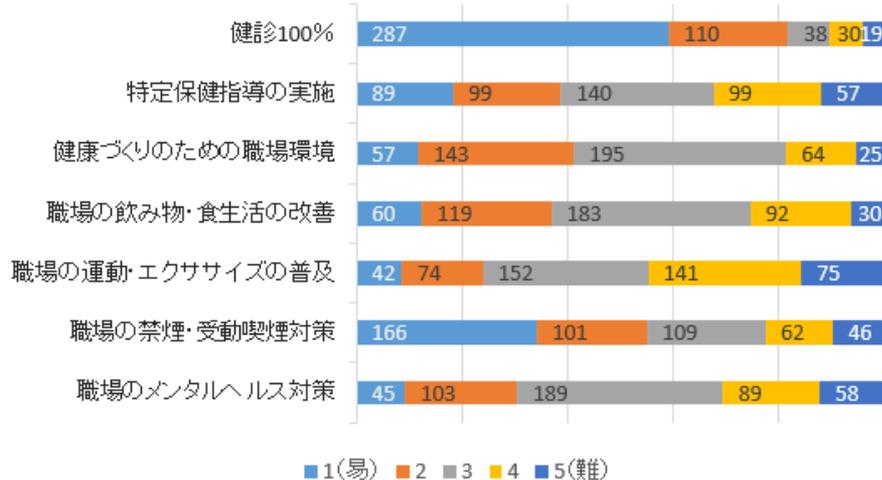
2. 各結果

取り組み項目別 難易度

認定を取得している事業所



宣言のみの事業所



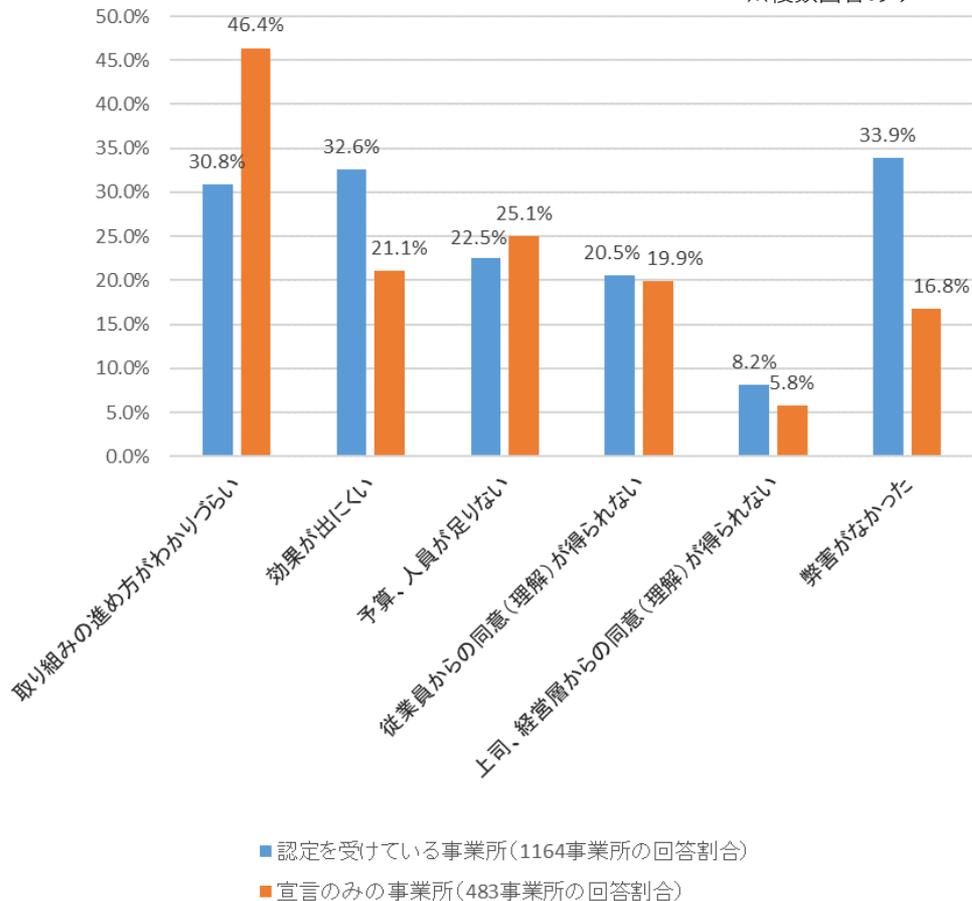
取り組み項目別難易度を見ると、認定を受けている事業所、宣言のみの事業所ともに「健診100%」の取り組みを簡易と回答する割合が最も高かった。次いで多かったのは「職場の禁煙・受動喫煙対策」であった。

一方で、取り組みが難しいという回答が多かったのは、「職場の運動・エクササイズの普及」で、次いで多かったのは、認定を受けている事業所、宣言のみの事業所ともに「特定保健指導の実施」であった。

2. 各結果

取り組みの中で弊害と感ずるもの

※複数回答あり



取り組みの中で弊害と感ずるものについて、認定を受けている事業所は、「効果が出にくい」という回答が多かった。宣言のみの事業所は「取り組みの進め方がわかりづらい」という回答が多かった。

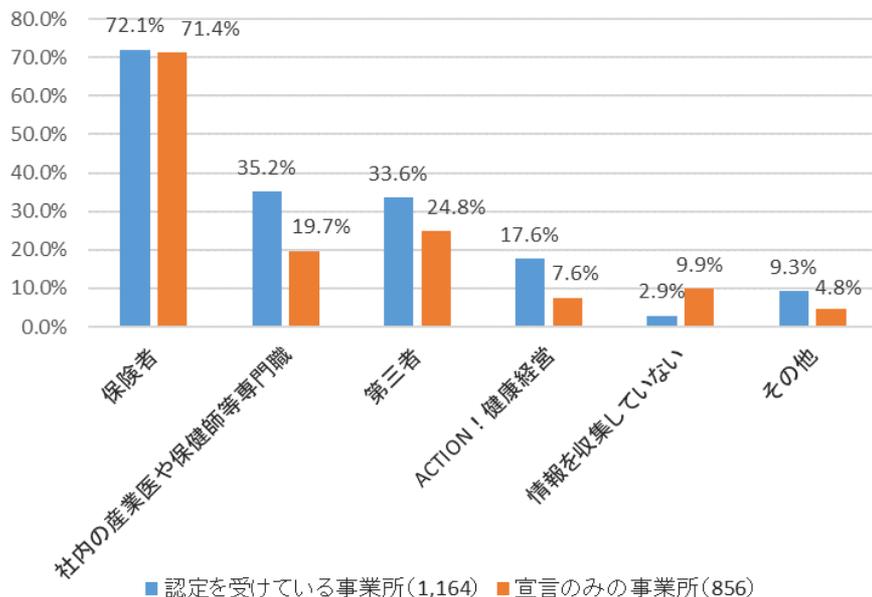
認定を受けている事業所の中には、「弊害がなかった」と回答している事業所も多かった。



2. 各結果

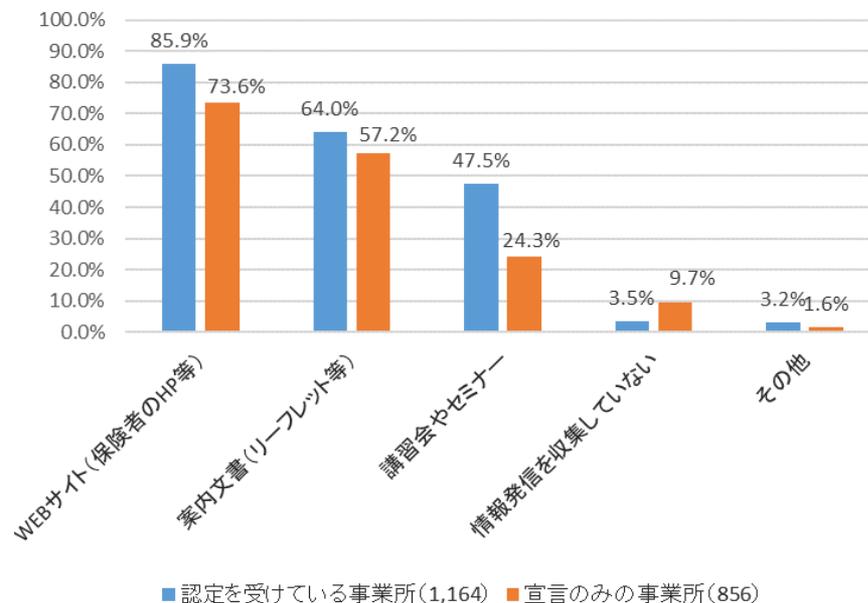
職場の健康づくりにおける情報収集先

※複数回答あり



情報収集を行うメディア

※複数回答あり

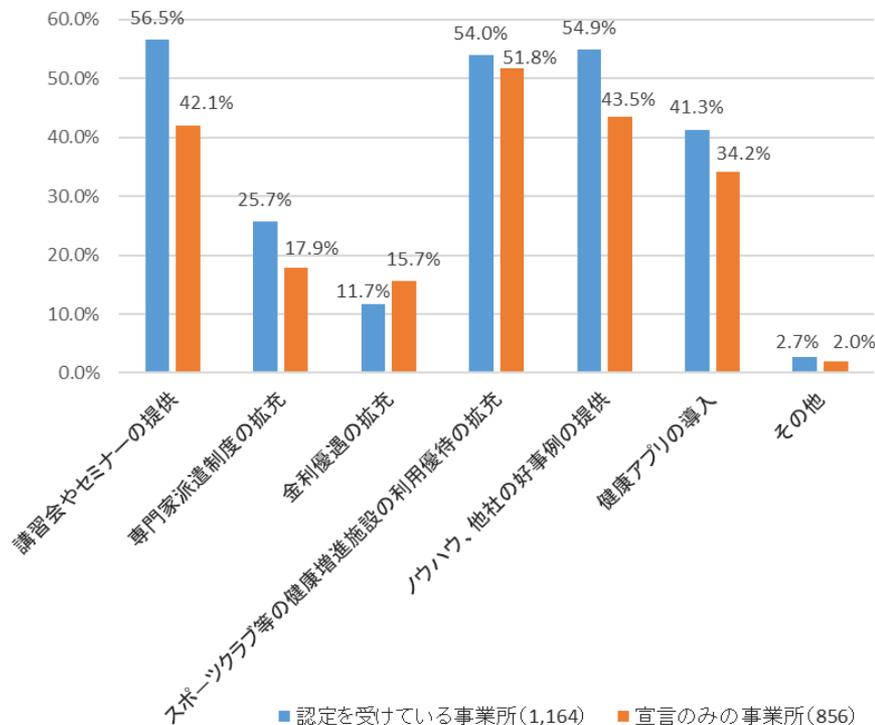


職場の健康づくりにおける情報収集先について、認定を受けている事業所は、「保険者」「社内の産業医や保健師等専門職」「第三者」の順で回答が多かった。宣言のみの事業所では、「保険者」「第三者」「社内の産業医や保健師等専門職」の順で多い結果となった。

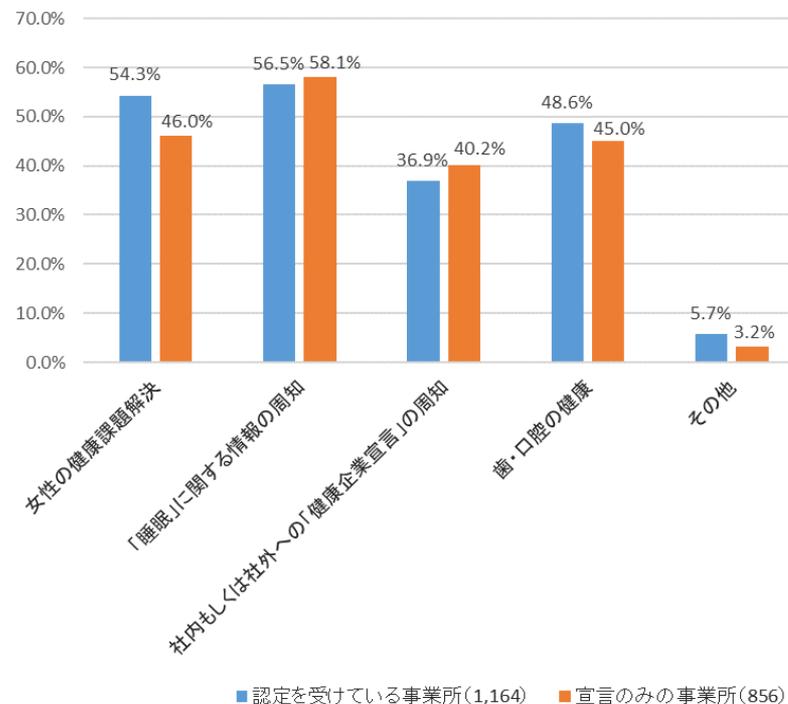
情報収集を行うメディアでは、認定を受けている事業所、宣言のみの事業所ともに、「WEBサイト（保険者のHP等）」が最も多く、他の項目の割合も回答割合の傾向は同じであった。「情報発信を収集していない」と回答した割合は宣言のみの事業所が、認定を受けている事業所を6.2ポイント上回っていた。

2. 各結果

今後拡充が必要だと思うサービス



今後増やしてほしい取り組み項目



認定を受けている事業所では、「講習会やセミナーの提供」「ノウハウ、他社の好事例の提供」「スポーツクラブ等の健康増進施設の利用優待の拡充」の順で回答が多かった。宣言のみの事業所では、「スポーツクラブ等の健康増進施設の利用優待の拡充」「ノウハウ、他社の好事例の提供」「講習会やセミナーの提供」の順で回答が多かった。

今後増やしてほしい取り組み項目では、すべての事業所で「「睡眠」に関する情報の周知」が最も多かった。その他を除き、最も少なかったのは認定を受けている事業所、宣言のみの事業所ともに「社内もしくは社外への「健康企業宣言」の周知」であった。

健康企業宣言に対する意見・要望

区分	件数	備考
制度や手続きに関すること	378	更新に関すること267、制度への意見等69、手続きへの意見等42
取組のサポート、相談等に関すること	108	事例の紹介19件
制度の発信、認知度向上等に関する意見等	23	
その他	140	特になし等49

主な意見

■制度や手続きに関すること

○更新に関すること

- ・ 1年に1度の更新が手間
- ・ 1年に1度の更新が手間であり、少なくとも複数年の有効期間を設けてほしい。
- ・ 2年に一度か3年ごとの更新にしてほしいです。
- ・ 1年に1度の更新が手間なので、もう少し効率的なツールがあれば1年に1度でもいい
- ・ 1年に1回の更新ではなく2年間有効ですと、残り1年で次のステップの準備を行えます
- ・ 年次更新について。更新を行わなければならないのは理解するが、一番忙しくなりはじめる時も重なるため、せめてワークライフバランス認定のように3年もしくは、5年に一度くらいの更新となると大変ありがたい。
- ・ 毎年更新が必要というのは手間だけでなく、費用もかかるので、3年とか5年に1回というのが理想的である。
- ・ 資料収集等、かなりの労力と時間を費やします。更新は、2~3年に1回がベストだと思います
- ・ 事務所が実施する健康企業宣言の更新手続きは、エビデンスの用意等、時間がかかるため、貴会から健康保険組合に送る更新手続きの案内は、もう少し早めに送っていただけると幸いです。また、健康保険組合だけでなく、事業所にも送っていただけると幸いです。

○制度への意見等

- ・ 取得の際の提出書類やデータが多く申請の手間のわりに、金の認定等の社会的な認知度が低い状態によってはホワイト500の取得に専念し更新をしないことも考える可能性があります。世間的にも取得の意義が上がることを期待します。
- ・ 1年に一度だと書類を準備する側も、審査側も大変かと思う。また年1回の確認はマンネリな活動報告になりやすい

主な意見

■制度や手続きに関すること

○制度への意見等（前項からの続き）

- ・取組がマンネリ化しつつある
- ・企業の規模で取り組めない課題がある 社員人数などでランクを分けてほしい。
- ・健康経営優良法人取得のために銀の認定を取得していますが、二度手間な気はしています
- ・健康企業宣言の取得を勧めていく中で、加点となる評価項目を分かりやすくしていただけると助かります
- ・銀の認定を取得したことによる社員のメリットが分かりづらい。
- ・他の業務と兼務なので、取組について、施策がパックや選択制になっていて、それに沿って進めていければ、担当者が助かると思います。
- ・英語でのサービスも提供して欲しい
- ・人数が少ないワンフロアの職場なので、取組みは口頭で済んでしまうものが多い。認定のためだけに書面でエビデンスを残すのが面倒。
- ・今回の専門家派遣を利用したが自社のみで取り組むには難易度が高い（取組みの継続、エビデンス資料の提出など）
- ・フルリモートの会社にはいていない。タスク（食事、飲み物、喫煙等）が多いので取組みをSTOPしようかなと考えています。また申請手続きが紙というのもハードルが高いです。

○手続きへの意見等

- ・認定を取得、更新する上で実施すべき内容が把握しづらい。申請方法がWEBでできないなど前時代的。
- ・更新手続きをWeb化していただきたい。
- ・申請がペーパーレス化し、データで申請できるとよい
- ・申請作業等をWebでおこないたい（紙書類を減らしたい）
- ・オンラインで申請できるようにしてほしい
- ・2, 3ヶ月毎のリマインド、タスク管理をサポートするwebツール等
- ・宣言書のデータ化を希望
- ・提出書類が多すぎる
- ・エビデンスの提出を簡素化してほしい（今のままでは用意すべき資料が多く、認定を受けるのが難しい）
- ・取組み方をもう少し簡易的に、取組みやすくして欲しい。提出資料のひな型を完備してほしい。

主な意見

■制度の発信、認知度向上等に関する意見等

- ・もっと健康企業宣言についてメディアで取り上げてもらってほしい
- ・金の認定企業名をもっとアピールしてほしい。そうなると目指す企業も増えると思う。
- ・健康経営優良法人と同じくらい、世間に認知されたい（銀・金の認定を知らない方が多い）
- ・
- ・銀の認定取得企業の従業員であることの特典があると短期的にも意識が進むような気がします。
- ・毎年更新のため銀の認定のロゴマークの有効期限があるので、活用できない。
- ・こちらが説明していても、従業員からの理解が得られない時があります。可能であれば、取り組み等について、主催団体様からも世間へ積極的な発信をしていただければ幸いです。

■取組のサポート、相談等に関すること

- ・有益な情報について、タイムリーに入手出来るアプリ等があれば、良いと思います。
- ・健康＝会社にとって利益ですよ、のほかに本人にとってもよい！ということをもっと簡単にまとめた文章がほしいです。
- ・実施していることが、これで正解なのかわからないまま進めているので、アドバイザーのような方がいるといいと思いました。
- ・社内で共有しやすいセミナーやリーフレット等があれば、情報をいただけると幸いです。
- ・専門的な人員を確保できないため、アンケート等で確認できるので、時々アンケートを入れてほしい。
- ・専門家など問い合わせ窓口があるとよい
- ・他社の取り組み推奨者との交流会、意見交換会などの企画
- ・特に中小企業は専任を置くなどが不可能なので、専門的な知識を持った方の派遣制度など、推進にあたっての様々な支援の拡充をして欲しい。

○事例の紹介

- ・ノウハウを集約した分かりやすいサイトなどがあるとありがたいです。
- ・他社の取り組み事例を職種別に紹介してほしい
- ・全国に事業所がある場合にすぐにすべての項目に取り組む・認識させていくことが難しいため、取り組み方法・周知の方法の良い事例があれば教えていただきたいです。
- ・他社がどのような健康企業宣言を行い、どのような効果が得られたか情報を知りたい。